

北海道 京極町

きょうごくちょう

京極町は、北海道の西部、後志管内の東部に位置し、羊蹄山の東のすそ野に広がり、東は札幌、西は倶知安町、南は喜茂別町、北は赤井川村に接しています。
えぞ富士と呼ばれる羊蹄山(1,898m)のすそ野に広がる農村風景は、広大であり力強さとどこかやすらぎを感じさせてくれます。観光客やカメラ愛好家は、四季折々様々な角度から羊蹄山と

また、京極町のふきだし湧水は、羊蹄山に降った雨や雪が地下に浸透し、十数年の歳月をかけて湧出したもので、多くの人に親しまれており、「名水百選」・「水の郷百

選」・「北海道遺産」にも選ばれ、多くの観光客が訪れます。



面積 231.61km²
人口 3,333人[9月末現在]

山形県 飯豊町

いいでまち

飯豊町は、山形県の西南部、最上川の源流部に

位置し、飯豊連峰の山懐をはじめとして総面積の約84%が山林で、田園散居集落に代表される平坦な水田地域と中山間地の山里地域、源流地域の山間地域に大別されます。

飯豊連峰から流れ出る清流白川は肥沃な扇状地を形成し、流域は豊穡な稲作地帯へと発展し、水田農業を生業とする農家が住み始めた頃から散居定住の形態が進んできました。農村の営みの中で

長い間風雪に耐え、守り育て、受け継がれた田園散居集落は、町の貴重な景観財産です。

また、中津川地区には、中門造りといわれている民家が残っています。雪国の農家の特徴を持った造りで、農耕馬と農民との暮らしが一体となった生活の文化です。その他に古来より引き継がれてきた菅笠づくりやござ織りなど、今もなおその文化は息づいています。

面積 329.60km²
人口 8,044人[9月末現在]

消防署だより

平成24年度 全国統一防火標語
『消すまでは 出ない行かない 離れない』

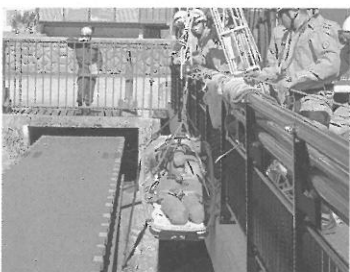


【清見・莊川と合同の救急救助訓練を実施】

10月25日、荻町市内の旧御番所橋で、白川出張所及び清見・莊川出張所が合同で、10m下の川原からケガ人を橋上へ引揚げの救急救助訓練を行い互いの連携を確認し有事の際に備えました。

【車両救出救助訓練】

10月15日から22日にかけて、白川出張所駐車場において、廃車車両を使用して、横転した事故車両からケガ人を救出する訓練及び車両を元に戻す訓練を行いました。



梯子を利用しての救出



斜面を利用しての救出



横転車両を元に戻す訓練



車両内よりケガ人を救出

10月中の火災と救急 火災 0件 救急 12件 救助 0件



25年の時を超え 手紙の出逢いを今現実に

10月5日(金)根尾美智子さん家族(荻町)と中山真紀子さん(東京都)夫婦が荻町集落で初めての出逢いを喜び合いました。さかのぼること昭和63年、美智子さんが保育園の時、「かってこ祭り」で飛ばした風船の手紙が東京都の真紀子さんの職

場まで届きました。この時から手紙の交換など友好関係が続いており、今回初めて真紀子さん夫婦が来村されました。25年前に届いた手紙を持参して、美智子さんに見せるとビックリ、時を超え思い出がよみがえる楽しいひと時をすごしました。



あなたからの情報をお待ちしています。
TEL 6-1311 内線123



鮮やかな手作り人形勢揃い

10月6日(土)~8日(月) 荒井真貴恵鳳(荒井恵子)先生宅でJA木目込み人形教室15周年記念作品展が行われました。木目込み人形とは、桐粉などを固めて人形のかたちを作り、溝を付け、布を入れ込む伝統工芸で、荳白川クラブ員ら17名の作品が展示されました。JAひだ女性部講師である荒井先生は、「手先を使う木目込みは常に勉強。今後も良い作品を作りたい。」など話していただきました。

大きな芋をたくさん収穫

10月2日(火) 白川・平瀬保育園の園児たち40人が白川保育園前の畑でさつまいも掘り体験を行いました。この日はすばらしい晴天となり、夏に逆戻りしたかのような陽気となりましたが、園児たちはこの暑さにも負けず一生懸命芋を掘り、「先生とれたー」と嬉しそうに声をあげる元気な姿を見せてくれました。大収穫となった芋は焼き芋にして、園児たちでおいしくいただきました。





茅刈りから伝統文化を学ぶ

10月22日(月) 白川中学校の生徒62名が吉原谷の茅場で茅刈り作業を行いました。地域の方から指導を受けた生徒たちは合掌家屋を保存するための茅刈り活動を通じて、世界遺産を守ることへの理解や郷土のために働くことの大切さを学びました。今回の作業では約500束分の茅を刈り取り、参加した生徒は「自分で刈った茅が合掌屋根に使われることがうれしいです。」と話してくれました。

丹 精込めて作った新米給食へ

10月2日(火) 財団法人世界遺産合掌造り保存財団が荻町合掌造り集落内で作ったひとめぼれ120kgを村学校給食センターへ寄附しました。同財団では、世界遺産の景観保全を目的に休耕田の復旧や維持管理を行っています。この日は、収穫したお米の一部を村の子供たちに食べてほしいと給食センターへ立ち寄り、白川小学校の教頭先生へ手渡されました。お米は11月の給食に登場する予定です。



白川PAさつまいも収穫祭

10月9日(火) 東海北陸自動車道飛騨白川パーキングエリアでさつまいも収穫祭が行われ、白川・平瀬保育園の園児17名が芋掘り体験に招待されました。ネクスコ中日本では、パーキングエリア内の整備されていないスペースの景観配慮や照り返し防止対策のため、花壇型の畑を作ってさつまいもを育てました。園児たちは芋の掘り方を教わると一斉に畑に広がり、職員らと一緒に収穫を楽しみました。

旧 校舎をいつまでも大切に

10月14日(日) 南部卓球クラブの呼びかけで南部地区の村民約50名が集まり、平瀬旧校舎の清掃活動が行われました。この活動は、地域のシンボルであった旧校舎をいつまでも大切に、子供たちと一緒に地域のために働くことの大切さを感じあおうと昨年から行われています。参加者たちは、教室や外周りをほうきや雑巾を使って丁寧に掃除し、きれいにした達成感を皆で分かち合いました。



編集者のひとりごと

輝けはばたけだれもが主役を合言葉に行われた「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」もあつという間に幕を閉じ、振り返ると白川村出身者では荒井謙さん(飯島)、手塚康太さん(荻町)らが陸上競技に出場して大健闘。特にやり投げでは荒井さんが4位に入賞する素晴らしい成績を収めました。また、村内ではウォークラリー大会が開催され、村内外から多くの方が出場し競技と世界遺産を楽しみました。とても大きな行事でありましたが、なんといっても大会を盛り上げるためにご尽力いただいた村民や関係者の皆さんが合言葉のとおり一番輝き主役であったと思います。皆さん本当にお疲れ様でした。

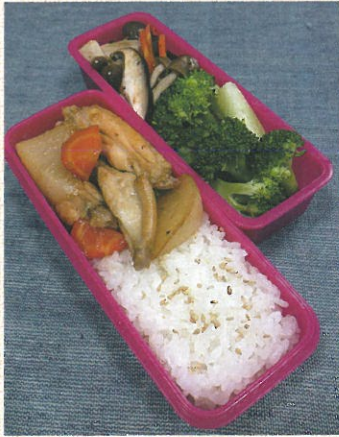


忙しい朝でも作れる 簡単!お弁当レシピ

Vol.10



テーマ*女性の為のコラーゲンたっぷり
ビューティー弁当



☆とり大根と温野菜弁当☆

●材料

〈とり大根の煮物〉

とり手羽肉 ハーフカット…100g

大根 ……3cmくらい

にんじん ……2cmくらい

A [ほんだし小2分の1、
砂糖 小1、酒 小1

お湯 ……20cc

しょうゆ ……小2分の1

サラダ油 ……少々

タカノツメ ……少々

〈ブロッコリー〉

ブロッコリーの小分け…4~5個

オリーブオイル…少々

塩…少々

ブラックペッパー…少々

〈蒸しきのこ〉

しいたけ…1枚

ほんしめじ…半株

人参スライス…3枚

塩…少々

ブラックペッパー…少々



●作り方

〈とり大根の煮物〉

①フライパンにサラダ油を入れ、タカノツメと鶏肉をいれ、焼き色がつくまで焼く。

②①に食べやすい大きさに切った大根と人参とAをいれ、大根の周りが透き通るくらいまで炒める。

③しょうゆ少々とお湯を入れふたをして煮込む。

④煮汁がなくなりかけたら残りのしょうゆをからませて出来上がり。

〈ブロッコリー〉

①ふつとうしたお湯の中にブロッコリーを入れて好みの固さに茹でる。

②ザルにあけてお湯を切り、ボールに入れる。

③オリーブオイルをからめ、塩、ブラックペッパーで味をととのえる。

〈蒸しきのこ〉

①しいたけはスライス、人参は千切り、しめじは手でほぐす。

②フライパンに①を入れて蒸し焼きにする。

③塩・ブラックペッパーで味をととのえる。

お弁当箱にご飯をつめて、その上にゴマをふりかけ、とり大根の煮物、ブロッコリー、蒸しきのこを入れて出来上がり!

きみママから一言

ご飯少な目で野菜たっぷりのヘルシー弁当です。鶏肉のコラーゲンでお肌がつるつるになっちゃうかも?!女性にうれしいお弁当です。

☆きみママのレシピはブログでも更新してます。

はらじゆく畑で検索 検索



おおたに
大谷 優斗くん(荻町)
10月23日 直之・公子



あべ
阿部 正佳くん(馬狩)
9月22日 寛大・香織

戸籍の まど

誕生おめでとう

むらの人口

男 855人(+3)

女 916人(-4)

計 1,771人(-1)

世帯数 575世帯(-1)

高齢化率 29.30%

11月1日現在、()内は前月比

10月27日 里子(荻町) 71歳

10月12日 ふさ(荻町) 102歳

10月11日 定吉(荻町) 87歳

おくやみ申し上げます

10月26日 優紀(高山市) 三輪了(高山市)

10月10日 馬狩 澤田仁美(仙台区)

10月10日 馬狩 土屋達郎(板橋区)

末永くお幸せに

萩町集落の景観保全をお手伝い! 休耕田のサツマイモ収穫



10月12日(金)白川小学校2年生の児童16名が萩町集落内のさつまいも掘り作業を行いました。この畑は財団法人世界遺産合掌造り保存財団が、集落内の景観保全を目的に休耕田を利用して作られたもので、児童たちは畑を管理している職員から景観を守るための大切さを学んだ後、一斉に芋掘りをはじめました。児童たちは沢山の芋を楽しみながら収穫し、恵みの秋を満喫しました。

応援してください!ふるさと寄付金 村外のご親戚やご友人に、白川村への「ふるさと寄付」をお勧めください。